



4年ぶりの登場です
～桜クリニックの西を流れる山崎川は名古屋でも有数の桜の名所です～

新たな出発

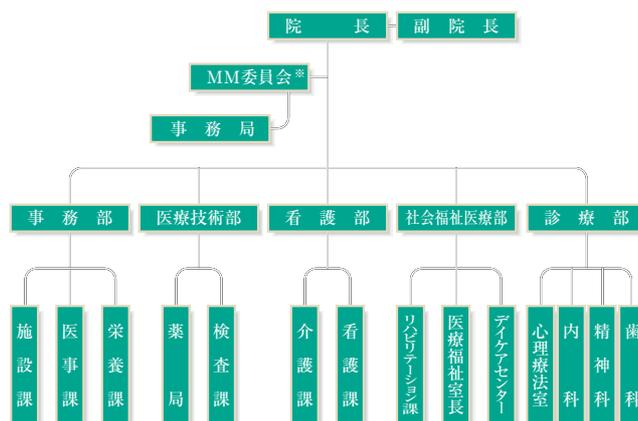
この度、平成14年より整備をして参りました新病棟建設・竣工(C館)に続き、平成15年9月よりB館の病棟改修(2・3・4階)が平成16年3月に完了、足かけ22ヶ月に渡るプロジェクトが終了いたしました。それに伴い共和病院も機能別の病棟が整備され、装いも新たに、より一層患者さまや地域の方々のための医療機関となる環境整備が整いました。この環境整備に合わせて、平成16年4月より共和病院の組織が変わります。この組織改編は、細分化されていた部署の統廃合と機能の見直しを行い新たな部署を新設し、充実した環境で今まで以上に利用者の方々のために効率よく機能する組織としてスリム化を図りました。

今回の概要は、看護部の中に介護保険や介護療養への高いニーズに応えるべく介護課を新設、従来各病棟単位で組織されていた6部門を看護課に統合しました。また、社会復帰に向けた機能の充実と細分化されていた各機能やサービスを総合的に提供させていただくため、社会福祉医療部の中に理学療法室と作業療法室を統合しリハビリテーション課を新設、医療技術部では、効率の良いサービスを提供するため放射線室と臨床検査室を検査課として統合しました。また、効率の良い組織運営を目指して医療技術部内にあった栄養課を事務部に再編しました。

この組織の改編、スリム化により組織内での意思決定や意見など、コミュニケーションの伝達速度が早くなり、リスクの軽減や利用者の方々一人ひとりのニーズに対応したトータルサービスの提供を目指していきます。

共和病院 組織図

(平成16年4月)



※Medical Management委員会



日本医療機能評価機構
認定シンボルマーク

TOPICS・EVENT

知多半島地域 こころの健康フェスティバル

平成16年3月6日、春とは言えまだ肌寒さが残る日ではありましたが、会場には大勢の方々が集まり、知多半島地域こころの健康フェスティバルが美浜町総合公園体育館にて開催されました。「こころの健康



フェスティバル」を県内で初めて開催したのは平成9年の知多半島地域(半田市)でした。以来、毎年フェスティバルを通して、地域交流と精神保健福祉への普及と理解向上に努めてきました。今回のフェスティバルは、社会参加の一つの形として、また精神障害者のスポーツ振興の一環としてソフトバレーボール大会を実施するという新しい試みをしました。

元来スポーツには身体を鍛え、気分をほぐし、仲間との交流を通して社会性を実につける等の効果があるとされていますが、精神障害者のスポーツといえば、精神科入院中の余暇の充実や院内運動会、リハビリテーションを目的とするものがほとんどでした。身体・知的障害者は昭和40年以降様々な取り組みを経て、「全国障害者スポーツ大会」(主催：厚生労働相、(財)日本障害者スポーツ協会等)として、毎年国民体育大会が開催される都道府県において実施されるようになりました。一方、精神障害者の方は平成5年の「障害者基本法」ではじめて「障害者」として位置づけられ、平成7年の「精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律」(精神保健福祉法)で精神保健福祉手帳ができ、福祉や社会参加に関する制度や施策が進められ、地域生活支援の促進が図られてきています。平成14年に高知県で「第2回全国障害者スポーツ大会」が開催されて、精神障害者のソフトバレーボール競技が「オープン競技」として実施されました。平成15年には静岡県で開催され、今後埼玉県、岡山県と開催が続きます。将来的には正式競技に入り、また競技種目も増えることが期待

されています。平成16年には愛知県、名古屋市の共同開催で「第1回精神障害者スポーツ大会」(仮称)ソフトバレーボール競技を実施する方向で検討されています。精神障害者のスポーツ振興は徐々に歩みをすすめています。みんなが楽しく一緒にスポーツをし、障害を持っていてもスポーツや文化芸術活動に取組めるような機会と場を知多半島から新たに発信し、その裾野を各地に広げたいという意気込みでスタッフ一同熱気に包まれていました。

*

フェスティバルは、午前10時、憩の郷ギターサークルの軽やかな演奏で幕を明けました。セレモニーでは岡田寿夫さんの挨拶に続き、美浜町長・知多保健所長の御挨拶があり、締めくくりは南知多・美浜地域精神障害者家族会かもめ会の方による選手宣誓で幕をおろしました。引き続き美浜町体育協会太極拳部の皆さんによる太極拳の実演が披露されました。太極拳の極意は「心」・「息」・「動」の調和であり、苦しいことも悲しいこともすべてを無にする無我の境地、宇宙に満ち溢れる精気と活気を体内に取り入れる呼吸法、ゆっ



たりと鶴が舞うような動きなど、丁寧な解説を交えた実演に会場の参加者も一緒になって体を動かしていました。また壇上には70才を過ぎた方もいらっしゃるのですが、動きのスムーズさ、バランスの良さ、体の柔らかさなどフロアからも驚きの声が上がっていました。

*

当日、会場には様々な活動や作品を紹介した展示コーナー、似顔絵ライブコーナーが設けられ、中庭広場では大道芸が行われ参加者を楽しませてくれました。また、多くの施設やグループが嗜好を凝らしたバザーや自主製品の販売、うどん、ラーメンなどのお店で賑わいました。特に昨年に続き登場した大道芸人ファニートンボ・ワンマンバンドさんは、口元に

カズー、手にはギター、背中にバスターム、スネアドラム、ハイハット、シンバルをロープで操りながら、迫力ある歌声とアコースティックなサウンドを奏でながら、広場狭しとパフォーマンスを披露してくれました。またファニートンボさんは森山直太郎の



新曲「太陽」のプロモーションビデオのなかで実演しているワンマンバンドの指導をしたり(「情熱大陸」という番組でも紹介されました)、同PVにも出演したりと、「いいとも」出演以降人気も急上昇中。会場を歩き交う参加者の中にもファンが多く、その迫力あるパフォーマンスに暫し足を止め聞き入っていました。

*

午後の部は会場をアリーナに移して本日のメインイベント、ソフトバレーボールの競技大会が行われました。競技に先立ち一ノ草病院職員チームvs共和・大府・南知多病院の混成チームによるデモンストラーションが行われ、とてもデモンストラーションとは思えぬ盛り上がりを見せていました。参加チームは12チーム、各チームとも気合い十分、優勝を目指し、また惜しくも初戦敗退チームも敢闘賞を目指してがんばりました。また、アリーナの中は珍プレー・好プレーの続出で、参加選手や応援席も大変盛り上がり、アリーナ全体が熱気に包まれていました。結果は、優勝・共生福祉会、2位・知多ブロック断酒競技会、3位・美浜町(職員さんたち)、敢闘賞は一ノ草病院の皆さんでした。我が共和病院は3位決定戦で敗退し惜しくも4位という結果になってしまいました。



新入職員研修会を終えて



平成16年度新入職員研修会が、薬剤師、言語聴覚士、精神保健福祉士、看護師、介護職員など多岐にわたる職種 of 総勢10名を対象に行われました。そこに1月より中途採用の私も参加させていただきました。

研修会は、理事長、院長をはじめ各部門長から医療や病院、各部署の機能の説明があり、職員としての心構えや接遇のセミナー、現場実習など盛りだくさんの一週間でした。

そのなかで医師をはじめとするそれぞれの専門職の方々が患者さまへのチーム医療に自身の役割をどんなふうに



実行されているのかという貴重なお話や実際の現場体験などありました。

また、今春異業種より転職してきた私にとって、若い同僚達と一緒に研修を交えることができ、新人の頃の希望や不安でいっぱいだった初々しい気持ちを思い出しました。また医療業界は初体験ですので、気持ちも新たに初心に戻ってがんばりたいと思います。今年度の抱負は「つなぎ」として、各専門職のチーム医療やそれを支える機能をサポートし、優しい医療の実践に貢献したいと思います。

企画室 西倉仁司

事業所移転のご案内

このたび 指定居宅介護支援事業所「菜の花」、訪問看護ステーション「ソレイユ」、福祉用具レンタル&サポート「なでしこ」は大府市共栄町9丁目より事業所を下記の所在地に移転いたしました。

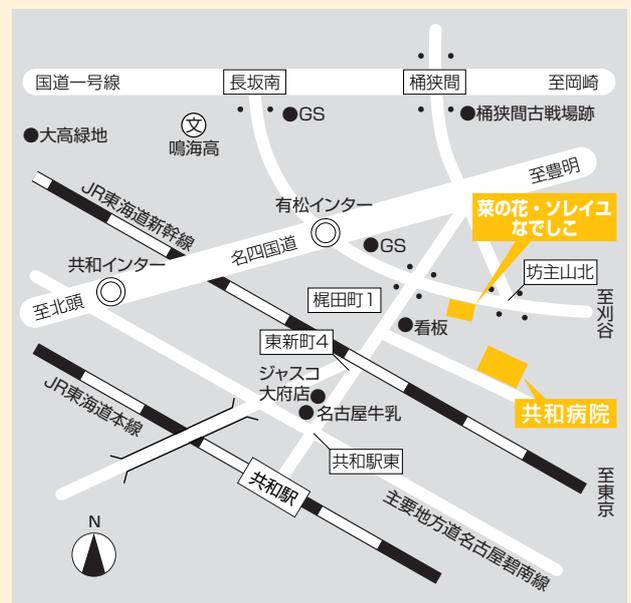
スタッフー同心機一転、ご利用者様の立場に立ってより一層、療養生活・在宅介護のお手伝いをしてまいります。

●新住所

〒474-0071 大府市梶田町2丁目29-1

●電話番号

菜の花 | ソレイユ | なでしこ
0562-45-1161 | 0562-45-1171 | 0562-45-7227



編集後記



待ちに待った美しい季節が来ました。桜の美しい季節です。桜が満開に咲き、草花が芽を出し、小鳥のさえずりや風の匂いさえも私たちが優しく包んでくれているようです。この季節になると必ず挨拶で桜の話題が出てきます。桜を愛でる気持ち、日常の喧噪の中にも自然を感じ、なにかしら自分も相手も優しい気持ちになって

ホッと一息。こんな季節はカメラ片手に野へ山へ、あるいは日常の何の変哲もない町並みに美しい自然を探しに行きたいものです。ファインダー(今では液晶画面)を覗き、とびきりの風景を、野に咲く一輪の花を切り取ってみてください。気持ちはすっかりフォトグラファー! 間違いない。

B-4・B-3病棟
4F・3F



B-4・B-3病棟 ナースステーション
開放的なオープンカウンターにしました



B-4・B-3病棟 デイルーム
暖色系を用いて暖かみのある空間を演出しています



B-4・B-3 病棟4床室
間仕切り家具と着替えコーナーでプライバシーにも配慮しました



TEL・面会・自販機コーナー
B-3病棟には自販機コーナーも設置しました

B-2病棟
2F



B-2病棟 デイルーム
ゆったりしたスペースと落ち着いた空間を提供します



B-2 病棟 個室群廊下
廊下幅3mのゆとりある空間になりました



B-2病棟 個室
机、専用家具、洗面の設備とゆとりの空間を提供します



B-2病棟 4床室
ベッドの配置を工夫し、間仕切り家具とカーテンでプライバシーにも配慮しました



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは!

- 患者様に安心と満足を提供する医療
- 良質且つ効率的な医療の提供
- 患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは!

- 毎日の出勤が楽しくなる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が患者様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしは、利用者の皆様へより良い医療をやさしく安全に提供し、納得のいく医療を受けていただくために努力しています。それには利用者の皆様と医療者の意志の疎通が最も重要であると考えます。

これを実現するために、わたしたちは思いやりのある、人格を尊重した医療を提供するとともに、以下のような医療を目指しています。

- 1.あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
- 2.あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
- 3.あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
- 4.あなたの医療上の個人情報保護されます。

病院長 榎本 和



特定医療法人 共和会 **共和病院**

愛知県大府市梶町2-123

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>

俳句コーナー

名譽院長
加藤 邦之助

湧くからに
流るるからに
春の水 漱石

「水前寺」と前書きがあり、熊本市の水前寺成趣園の池の湧水を詠んだ句で、明治三十一年熊本在住当時の句であります。阿蘇山の伏流水が湧き出て清らかに流れていくのを観て漱石の心も澄んでいたのでしょうか。「湧くからに」と「流るるからに」との対句が心地よいリズムで続き、いかにも清らかな透明感が出ているではありませんか。

実際には当時は鏡子婦人のヒステリーが重かった頃でしたので、私がこの句から想像したものは掛け離れた心境の漱石であったかも知れませんが、と云うのはこの句から春の水の清らかさは感じても、春の暖かさが無く何かまだ冷たい感じが残っているようです。